



「共苦」が生命線

理事長 岩村義雄



ボランティア道は、コロナ禍にあって、使命を発揮します。だれしもがしあわせになりたいのです。だれしもが「苦」から逃れたいのです。病、経済、復興から逃れられないなら、その方の人権ははずたずたになります。「苦悩」を欲しない権利はみんなもちあわせています。他己の苦を放っておけません。しかし、他者の痛み、苦しみ、怒り、くやしさに共振り、その方の呻きに感情移入することは容易ではありません。「あるサマリア人、その場所に来ると、その人を見て気の毒に思い」、とイエス・キリストは語りました。人の苦しみを自己に重ねるようにと迫られたのです。すると自他平等が実現します。2020年7月4日(土)朝、熊本県球磨川で大雨により氾濫、洪水

が発生。約11時間をかけて、夕刻に熊本県球磨郡、人吉市、芦北町の限界集落に到着しました。そこでは、独居の人たちが二階にまで覆われた固くなった泥、異臭、孤独にふるえておられました。そんな心細い人たちにとり、災害支縁に大きく立ちふさがったのは、「県外お断り」の方針でした。ボランティアがぜんぜん来なくなってしまうました。要請してもだれも手伝いに来ない家ばかり。どうにもこうにもやりようのない無力感が現場を覆っていました。(3ページに続く)

福島県南相馬市余震が続く第115次東北ボランティア

2021年2月13日(土)午後11時7分、福島県沖でマグニチュード7.1の地震発生。福島・宮城で震度6強による10県の計157人の負傷者、なかでも福島県が83人、住宅は約1,400棟で損壊翌14日午後2時半に神戸を出発。15日(月)午前7時半に、福島県相馬市落石で通行止めとなった松川浦大橋周辺の臨港道路に到着。その尾浜集落は多くの家の屋根の瓦が損壊し、がれきとして道路を塞いでいました。10年前の3.11の時、相馬市尾浜は港町であり、漁業に携わる地域でした。相馬港は、太平洋側の海岸部にあります。漁業従事者が多い地域であり、松川浦沿いには当時から民宿や旅館、お土産屋がありました。8.9メートルの津波が襲いました。被害は大きく、相馬市の人口は2010年に37,817人の内、458人が死亡。行方不明者は「お上(かみ)」の発表によるとゼロ。全壊589戸

世帯、大規模半壊62世帯、半壊66世帯、一部損壊41世帯でした。15日に、がれき未処理を探して戸別訪問した尾浜地区は、高台でも瓦が落ちていました。

一番高台でお会いしたご夫婦の奥さまのお姉さんは10年前、ご主人の漁に出る舟を見送るために出かけたとき、いまだに遺体もみつかっていないと、涙ぐんで話されました。12日経った2月25日、福島の50代男性家財の下敷きになり死亡と報道されました。死因は圧迫による窒息死。一人暮らしでした。なぜ死後12日も経っているにもかかわらず、だれも気づかなかつたのでしょうか。独居者は「無関心」という罪による犠牲者でした。そんなことがないようにボランティアは今日も出かけます。



福島県相馬市尾浜地区にある船越観音 2021年2月15日

ヤマザキ
世界のパン
ヤマザキ

Otsuka
株式会社 大塚製薬工場
〒772-8601
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
TEL 088-685-1151(代表)

MiYOSHi
ミヨシ石鹸株式会社
〒130-0021
東京都墨田区緑3-8-12
TEL 03-3634-1341

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA
竹中工務店
〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1

 **KINSAN** 夢に近づく
夢を産み出す…

KS 近畿産業信用組合

総合コールセンター

0120-111-019



畑とスコップで耕起する岩村理事長(右)たち

田起こし被災地支援

神戸国際
支縁機構
相良村で「復幸米」作り

国内外で被災者支援活動を行う神戸国際支縁機構(岩村理事長)は、昨年の7月豪雨で被災した熊本県相良村の被災地を訪問し、同村の被災地を視察し、住民を支援するため、田起こし作業を行った。

田起こし作業は、同村の被災地を訪問し、住民を支援するため、田起こし作業を行った。

田起こし作業は、同村の被災地を訪問し、住民を支援するため、田起こし作業を行った。

東北と熊本県相良でも「復幸米」づくり

代表 村上裕隆 第14次球磨川(熊本豪雨)ボランティア

1月から田起こしをして、熊本県球磨郡相良村の田んぼに水が入りました。友田謙吾&町子ご夫妻が田を提供してくださっています。6月は園児たちとトラトラ層づくり、田植え。無農薬、有機で作る「復幸米」を相良の住民に楽しんでいただきます。4月6日、神戸からの3人は遊休田であつた地に水を引きました。石巻市渡波では5月25日、熊本県相良では6月22日にトラトラ層づくり、田植えに園児たちととりかかります。石巻にしても、相良にしても、10年後、30年後に自分達の食糧はその地域の自分達で栽培する日が芽生えることを祈り心をもって仕えます。

2021年4月4-7日

(一社)神戸国際支縁機構

●ボランティアや移住者募集中

農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。

●被災地への支縁物資もお願いします。

●年会費をお願いします。(月に200円)

会員(年度4月~翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

●海外の孤児のために支縁金をお願いします。

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口2,400円/1年
賛助会員は、一口5,000円/1年

郵便振替 口座 00900-8-58077

加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

三菱UFJ銀行 462(三宮支店) 普通 3169863

神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には必ず「国名」を書き添えてください。

『人吉新聞』(2021年3月17日付)



「復幸米」作りは、相良村の被災地を訪問し、住民を支援するため、田起こし作業を行った。

初めて地球を一回りした日本人
「石巻若宮丸物語」(14) 阿部 和夫

プロフィール
1938年宮城県石巻市生。石巻小学校校長1999年退職。石巻市教育委員会教育長(1999-2008)。近刊阿部和夫著『戊辰戦争と仙台藩』その時、石巻では「(三陸河北新報社)好評」。

幕府の方針と四人の引き取り
レザノフが待ちかねた日本代表の人物として、江戸から目付遠山景普等の一行が長崎に到着したのは、年を越しさらにひな祭りも過ぎてからでした。いよいよ全権同士の語る日露交渉が始まることになりました。最初の会談が行われたのは三月六日ですが、長崎奉行所は、江戸から交渉の当事者が来る三か月前(前年十一月末)に既に幕府の方針を受け取っていたのです。

その内容は次のようなものでした。

- ① 先ず、通商を断った上で漂流民を引き取るようにせよ。
- ② 若し、通商の要望が受け入れられないからといって、漂流民の引き渡しを拒否する場合は、受け取らなくとも構わない。
- ③ 漂流民をロシアに連れ帰る場合は、関わり合うことはない。
- ④ 一旦帰国し又来日する場合、入港してもいけないし、漂流民を受け取らないことを申し渡す。
- ⑤ どうしても漂流民を引き渡したい場合には、紅毛人(オランダ人)を通して送り返させるようにせよ。

幕府は、鎖国という国策の維持のためには、仙台藩の船乗り四人を見捨てることも躊躇しませんでした。三回に及ぶ会談の結果、幕府が示した回答は、レザノフにとって耐え難いものでした。

・鎖国は我が国の祖法なので、通商の申し出は受け入れられない。

・ロシア皇帝からの国書も贈答品も受け取るわけにはいかない。

・以後、日本には来ないで貰いたい。

・今後、ロシアに漂流する日本人が居ても、直接連れてくることはなく、オランダ人に引き渡して貰いたい。

通商交渉は失敗しましたが、四人の漂流民は、三月十日に長崎奉行所に引き渡されます。四人は、レザノフの前に平伏して、これまで受けた数々の配慮に感謝の言葉を述べました。彼は「このまま別れば、二度と会えないだろう」と四人と抱擁して今生の別れをします。津太夫は「必ずあの世で会おう」と地面を踏んで涙を流しました。

レザノフは、失意の内に長崎を離れますが、それがロシアの日本攻撃へと繋がります。



TAMANOHADA

代表取締役 三木 晴雄

〒130-0021 東京都墨田区緑 3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamanohada.co.jp



「ヒューマンティファスト」

日本アハマディア・ムスリム協会

弁護士法人
芦屋西宮市民法律事務所



津久井 進

日弁連災害復興支援委員会委員長
兵庫県弁護士会会長

TEL: 0798-68-3161

ミヨシ共栄株式会社

東京都墨田区緑3丁目8番12号

事務局便り

第 18 次千葉災害漁ボランティア

2021 年 4 月 18 日～

18日、今年になって最大の激しい風。漁師さんたちにとりナガモクと言っているホンダワラ、アカモクなどが風速20メートルのため、港を覆っていました。スクリューにからむので撤去作業です。お百姓さんが雑草をとるように、海面に浮かんだナガモクを取り除きます。植物とちがって根っこらしきものはありません。気泡と呼ばれる浮きがついています。プチッと、つぶすと泡がでます。茎が非常に硬く、全体的に青臭いから食べるのには向いていません。雑草と同じように敵のように嫌われていますが、雑草が空気中に酸素を放出し、人間にはかけがえのないのと同じように、海の藻も魚などの産卵の場所であり、稚魚が育つゆりかごの役割をしています。オコゼの子どもがいました。



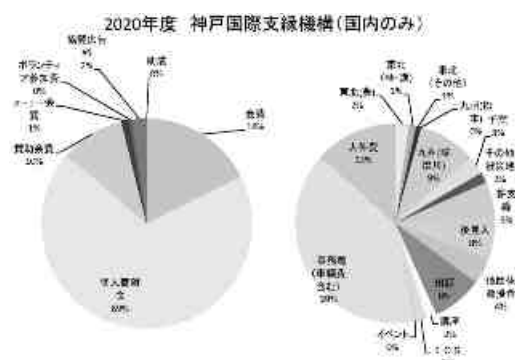
午後は千葉県館山市の「かにた婦人の村」に新井克英カメラマンと一緒にきました。「慰安婦」の慰霊碑が小高い丘に建っています。日本人「慰安婦」の被害事実を最初に証した城田すず子さん[1921-1993 仮名]の願いが伝わります。深津文雄[ふかつ 1909-2000] 牧師が「小さくされた | 不幸な女性

たちのために逃れのコミュニティを作った場所です。日本人男性のすべては総懺悔すべきと迫られる歴史的に忘れてはならない場所です。



セミナー告知

- 本田哲郎セミナー 毎月第3金曜午前10時～
- 岩村義雄セミナー 毎月最終月曜午後6時半～
- 事務局長本田寿久さんは『さくらfm』（2021年4月15日12時20分～）でラジオ放送で災害ボランティアを話しました。



救済金、維持会費ご協力感谢您します。（敬称略）

2021年1月24日～4月17日

岩村義雄、神戸国際キリスト教会、池田等 & 池田裕子、山崎製パン(株)、神戸聖福音教会、李敬淑、合同会社 Bless 泉 眞姫、土手ゆき子(2)、関弘記、土手聡、胆、直、久留島琴、青木麻美子、廣瀬素子、宮本博美、藤丸秀幸(法専寺住職)、甲斐田 敏、石川久子、中道澄香、兵頭晴喜、高 祐二、さかいようこ、三橋理江子、太田登志、保田 薫、森 明子、AIC(ローマ・カトリック系)、玉の肌石絳(株)、ミヨシ油脂(株)、竹本拓也、豊原大啓【全国仏教会前理事長】、石山久男、坂刈崎・森川 甫、生田綾子(宮城県多賀城)、市川啓一、宮氏道夫、岩間 洋、岩間 忠孝、沖浦宏隆(千葉県市良)、飛田雄一、廣森勝久、福地弥寿子、田中 操、張 賢徳、大槻良文、櫻井由里、中山主三、三宅幸子、加藤惠子、
嶋田博信 & 礼子(千葉県市良)、(有) 本田商会、本田寿久(2)、堤 いつ子、日本キリスト教団 芦花三条教会、(株) 大塚製薬工場、大河戸章代、深川昭明(熊本県市北町吉尾)、高橋一正(3)、湯谷茂樹、西本玲子、日本基督教団神戸栄光教会、春重恵子、KISO 牧場(細川満佐枝、祐照寺(古川真照住職)、左成和朗、本田すみ代、赤石恵里、伊藤直樹、伊藤ヨシ子(茨城県日光市)、藤原光代、刈部真希子(2)、鄭 炳炎(民団大阪府本部)、相浦恵子、守屋香子、春原和子、徳留由美、上村和子、愛編クラブ(阪上順子)、河内常男、大谷洋子、永野由美子、「小さくされた人々のための福音」講座(2)、「百万人の福音」、石縄バプテスト連盟 ルア教会、村上安世、栗原 健、柳澤 豊、神部隆三、樋口 實(朝倉市松末)、忠内一由、尾島淳義、杣 浩二、泉とも子、西上千太郎子、白方誠嗣、石川久子、匿名

489.000 円

フードバンク関西からの提供は炊き出しに役立っています。生活協同組合コープこうべからもたくさんの食糧物資を提供していただいています。コープ神戸の前田裕保さんから米20キロ×20を事務所に届けいただきました。YWCAがウエットティッシュを大量にくださいました。村上裕隆は熊本県球磨郡相良村の田起のため、一輪車本、鍬4本を提供。宮城県石巻市の丹野恵子さん、本田巧さんらからたくさんのノリをいただきました。川本英次さんからいただいたデコポンを炊き出しで提供。佐々木修と貴子さんからの差し入れに感謝。

収入の部		支出の部	
内容	金額	内容	金額
青年奨励会金	72,111	東北ボランティア 慈善	308,976
会費	2,345,200	" 林業・食産	154,405
個人寄附金	9,136,541	" ほか	91,849
賛助会費	1,397,000	九州（佐賀）ボランティア	21,430
オーナー会費	180,000	九州（福岡）ボランティア	1,252,297
ボランティア参加費	69,000	千葉ボランティア	400,238
協賛広告費	280,000	その他被災地	224,001
初年度	0	熊本県ボランティア	148,025
		鹿児島ボランティア	885,947
		他団体役員会	537,846
		出版	1,707,405
		演説	227,422
		100円	231,438
		イベント	10,062
		事務局（事務局含む）	5,338,938
		人件費	1,900,000
計	13,590,354	計	13,501,556
		総勘合	121,455

編集後記

アフリカのケニアの貧しい子どもたちのところに単身、出かけました。陽気な明るさと、近代の貪欲な知略を用いない純粋な現地の人々、雄大な自然のパラマ、大きなゾウとの出会い。私の心をとらえた大地。いつの日か骨を埋めるならそばえるキリマンジャロのふもとと願っていました。いつもすり切れた服装で、最果ての地にまでホテルに泊まらず、寝袋をもって出かける「カヨ子基金」の創立者岩村義雄を知りました。マスク支縁がきっかけで共感しました。日本人が失っていた弱者にやさしい生き方と波長が合いました。東北、千葉、そして熊本の相良に同行しています。

事務局 大河戸章代